

情報通信審議会 情報通信技術分科会
IPネットワーク設備委員会 技術検討作業班（第30回）
議事要旨

1 日時

平成29年4月19日（水）10時00分～11時00分

2 場所

総務省地下8階 第1特別会議室

3 出席者（敬称略）

（1）作業班構成員

酒井 善則（主任）、内田 真人（主任代理）、雨堤 俊之、遠藤 晃、大澤 登、岡田 玉成、
金沢 誠、加納 大三、河合 栄治、高 敏雄、高橋 玲、高橋 徹、鳥丸 健一、
内藤 伸二、中原 照夫、中村 信之、橋本 高志、船越 健志、本多 亮吾、三宅 和裕

（2）事務局（総合通信基盤局 電気通信事業部）

荻原 直彦（電気通信技術システム課長）、安藤 高明（安全・信頼性対策室長）、
杵浦 維勝（電気通信技術システム課課長補佐）、河合 直樹（電気通信技術システム課企画係長）

4 議事

（1）技術検討作業班報告案について

事務局より、資料30-1及び資料30-2に基づき、検討課題等に対する構成員提出意見及び技術検討作業班報告（案）について説明があった。主な質疑応答等は次のとおり。

○資料30-2 P.9に記載の輻輳対策について、必ずしも輻輳対策機能を個別の装置ごとに具備するというのではなく、事業者のシステム全体に輻輳対策機能を具備することも相当としていると解釈してよいか。

→現行の事業用電気通信設備規則第8条の表現を踏まえて資料のとおりに記載としているが、記載の意図は、交換機能を提供するシステムとして輻輳対策機能を具備頂くということである。

○資料30-2 P.9に記載の外部から受信したプログラムによる不正動作の防止について、自網内で当該装置を講じることを義務付けるのは当然と考えるが、今後、事業者間でIP相互接続が行われることを踏まえれば、サイバーセキュリティ等の観点から、POIにおいても当該措置を講じることが重要と考える。本記載は、このような点も含めた規定と解釈してよいか。

→不正動作の防止について、現行規定では事業用電気通信設備規則第6条において規定している。今後、「繋ぐ機能POI」において各事業者がIP相互接続を行う際、各事業者が不正動作の防止措置をとらなければ他社にも影響を与えることとなるので、まずは各事業者が自らの設置設備に不正動作の防止機能を具備する必要があると考える。

→「繋ぐ機能 POI」では一部事業者による設備の共用が想定されており、1事業者の流すトラヒックがこれまで以上に全体に影響を与えることとなる。したがって、自網内だけではなく、POIを含めた区間で不正動作を防止することが重要になるのではないかと考え、発言した。

○資料 30-2 P. 12 に記載のメタル IP 電話の音声品質規定について、通話品質を規定する区間がメタルアクセス網区間のみとなっているが、アナログ電話端末も含めた区間とすることが適当ではないか。また、同資料 P. 14 に記載の通話品質の測定方法について、ラウドネス定格の実測値を用いることとするとあるが、ラウドネス定格の実測は困難であるので、遅延時間の測定方法と同様に、モデル値を用いることも許容してはどうか。具体的には、「または、アナログ伝送区間の信号減衰量の実測値と標準的アナログ電話機の送受話ラウドネスのモデルから算出される値を用いることとする。」と追記してはどうか。

→御意見を踏まえて記載内容を修正する。

○資料 30-1 P. 8 に記載の IP 変換装置等の品質劣化要因について、遅延時間以外は規定がないこととなるが、今後、IP 変換装置等においてパケット損失の発生等が想定されることとなった場合には、この区間にも何らかの形で規定を設けるということでよいと考える。

○資料 30-2 P. 11 に記載の音声品質規定について、「繋ぐ機能 POI ビル」において共用スイッチを介して相互接続を行う場合には、共用スイッチの機能・性能を考慮する必要があると考える。

→共用スイッチを介して相互接続を行う場合、共用スイッチで 10ms の遅延が生じるとすれば、例えば、接続する 2 事業者でその 5ms ずつを吸収できるように、当該事業者において自網を構築・運用していただくこととなる。

質疑応答等の後、技術検討作業班報告（案）について、平成 29 年 4 月 26 日（水）まで構成員から意見を募集し、必要な修正を行った上で IP ネットワーク設備委員会に報告を行うこととなった。また、技術検討作業班報告（案）の修正については、主任に一任することが承認された。

(2) その他

事務局より、資料 30-3 に基づき、今後のスケジュール（案）について説明があり、次回の IP ネットワーク設備委員会が 5 月頃に開催予定であること、また、同委員会において、本作業班からの報告を基に委員会報告書の議論が進められる予定であることが報告された。

以上